育英会だより

発行所
公財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03（3518）6121
FAX 03（3518）6122
E-mail:mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

公益財団法人　漁船海難遺児育英会
理事長　**鈴木俊一**

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年のわが国の経済は「アベノミクス」による金融緩和、景気対策、地方創生等により、長期にわたるデフレ不況からの脱却を図っているところでありますが、一方で8月以降の急激な円安や原油相場の下落は今後の日本経済の不安材料でもあり、漁業においては、引き続く国内生産物需要量の減少や魚価の低迷など、いまだ厳しい状況が続いております。

東日本大震災から間もなく4年を迎えますが、本会では、被災地の漁連・漁協等の協力を得て、本会育英制度利用の呼びかけを実施し、昨年12月末までに震災遺児75名を奨学生として採用したところであります。

また、本会は今年10月で設立45周年を迎えます。当初はせめて給食費程度でもと、小・中学生に対する学資給与制度からスタートしましたが、その後、多くの寄附者からの支援等により、教育費の増加に対応し、改善・充実を図りました。現在では幼稚園児から大学生等までを対象としており、他の類似育英団体と遜色のない奨学制度となっております。この間、全国の漁船海難遺児に対する支援者および関係各位のご尽力に対して改めてお礼申し上げます。

このような中で、日ごろから漁船海難遺児育英事業をご支援いただいております皆さま方には、昨年も変わることなく格別のご支援を賜り、改めて誠にありがたく厚くお礼申し上げますとともに、今後も、皆さまから託されたご厚志を海難遺児・遺族のために十分に役立てていくため、一層の努力をしてまいる所存であります。

何とぞ、皆さま方の温かいご支援・ご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

奨学生の皆さまにおかれましては、進学・就職を控え、希望に満ちた年明けを迎えられた方も多いかと存じます。新しいこの1年を健康に気を付け、実り多き年としてください。

最後に、皆さま方のますますのご発展とご健勝、そして海上安全を祈念申し上げます。

漁船海難遺児を励ます全国協議会
会長　**岸宏**

あけましておめでとうございます。

漁船海難遺児育英事業につきましては、常々格別のご支援ならびにご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

漁船海難遺児を励ます全国協議会（全励協）が、育英事業の奨学生を励まし、支援することを目的として、2013年4月より実施しております漁船海難遺児を励ます第9期募金運動（3ヵ年）は、全国のJF組合員、女性部員、JF職員の皆さまのご尽力のもと、現在2年目の取組みを実施しているところでございます。

本年の4月からは、当募金運動の取組みが最終年（3ヵ年目）となりますので、引き続き、皆さまの積極的な募金運動への参加、声かけ等のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

操業の安全確保につきまして全励協では、安全を確保した労働環境の整備が、浜の担い手の育成や確保、経営面での安定につながるものと位置付け、「ライフジャケット着用」の声かけや行政との連携による操業安全講習会の開催等、各浦浜での身近な取り組みを推進しております。

漁業者自らが海難事故のない浜づくりに取り組むことが、安全・安心な魅力ある漁業につながるとともに、JFグループの運動の柱となりますので、全国のJF組合員におかれましては、漁船に乗り込む際には必ずライフジャケットを着用し、積極的な操業安全の推進にご協力を賜りますようお願いいたします。

JFグループは、昨年11月にJF全国代表者集会を開催し、2015年度から5年間のJFグループ運動方針を採択しました。JFグループの原点は浜、漁業、漁業者であり、今、各地域で策定している浜プランを着実に実践し、浜の活力を取り戻すとともに、漁業の再生と水産日本の復活に向け、「浜の活力再生」、「組織・事業基盤の確立と人づくり」、「漁村活性化に向けたJFグループの役割発揮」の3つを柱に、JFグループの総意のもと運動を展開してまいります。

最後になりましたが、奨学生の皆さまには、日ごろより学業、スポーツそしてご家族のお手伝いに励んでいることと思いますが、私たち浜の応援団が見守っていることを忘れずにいて下さい。

むすびに、被災地域の漁業、漁村のさらなる復興・再生をご祈念申し上げますとともに、操業の安全ならびに皆さま方のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国漁協女性部連絡協議会
会長理事　**森武美**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

東日本大震災発生から、4回目のお正月を迎えましたが、被災地では、今も復旧・復興への休みない努力とご苦労が続いていることを年頭にあたり、しっかりと心に刻みつけたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、やはり自然災害が多発したことに思いが至ります。各地で観測史上、記録を塗り替えるような豪雨が頻発しました。特に広島市で起きた土砂災害で、多くの人命が失われたことは記憶に新しく、また、9月の御岳山の噴火では、その被害の大きさに衝撃が走りました。そして11月には長野県北部を地震が襲い、さらに年末には各地で吹雪が吹き荒れるといったありさまでした。

自然災害は世界規模で多発しており、地球がどうかなってしまったのではないかとの恐れを抱くほどです。

そのような中で、長野県北部地震に見舞われた白馬村では「住民支え合いマップ」というものが作成されていて、日ごろからの助け合い体制が備わっていたことから、被災直後より住民自らによる救助活動が展開され、死者や行方不明者を出さなかったという報道が印象に残りました。

災害に立ち向かうには、日ごろの備えと助け合いがいかに重要かということを痛感する出来事でした。

これは海の安全においても同じことだと思います。

海難と労災で毎年百数十人の犠牲を生む現状はまさに重大な災害です。個々人が注意すれば良いといった問題ではありません。組織だった「日ごろの備え」と「助け合い」が必要だと考えます。

そして日ごろの備えの最たるものがライフジャケットの常時着用です。なかなか普及が進まない常時着用ですが、浜単位ですべての漁業者が着用することを取り決め、着用していないと恥ずかしくて出港できないというような状況を我々が本気になって作り出して行かなければならないと強く感じております。

一方、漁船海難遺児育英事業も助け合いの精神から生まれたものです。この育英事業も長年のときを経て、今ではご寄附の半分ほどがJFグループ以外の一般からのご支援で支えられていると聞き感謝にたえません。

国を挙げて経済再生に取組んでいる現在ですが、反面、低金利はこれからも続くものと思われます。これは公益財団法人にとって厳しい経営環境が続くということですが、滞りなくこの制度を維持し発展させる必要があります。JFグループの一員としてその責任を痛感するところでございます。

今まさに第9期募金運動の最中でございますが、私ども漁協女性部も一層の努力をして参りたいと思います。どうか関係各位のご努力と皆さま方の一層のご支援をお願い申し上げます。

最後に新しい年が奨学生の皆さま、ご家族の皆さまにとって健康で夢と希望にあふれた実り多い1年でありますことを願い年頭のご挨拶と致します。

2014年度 第3回奨学生選考委員会

10月28日、『2014年度第3回奨学生選考委員会』が東京都千代田区の本会事務所にて開催され、「第3回奨学生出願者（10月15日締切）の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として小学生3人、中学生3人、高校生等2人の合計8人が採用されました。

なお、新規奨学生を加えた12月15日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

お知らせ

ゆび募金（募金型自動販売機）による
2014年8月末までの
寄附金累計額は
834,255円です。
ご協力
ありがとうございました。

※ゆび募金に関するお問い合わせは事務局まで

第65回全国漁港漁場大会

10月23日、公益社団法人全国漁港漁場協会が主催する『第65回全国漁港漁場大会』が、東京都港区の「メルパルクホール」にて盛大に開催されました。

当日は、全国各地から関係者ら約1300人が集結、付議議案「漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する件」は満場一致で採択されました。

本会では、今年も会場受付付近等で募金活動を行い、来場された皆さまより温かいご支援を賜ることができました。大会主催者はじめ、一緒に募金を呼び掛けてくださった漁船海難遺児を励ます全国協議会の皆さん、また、ご協力いただいた多くのかたがたに心より感謝申し上げます。

ぎょさい創設50周年記念大会

全国漁業共済組合連合会は10月30日、東京都千代田区の「パレスホテル東京」で『ぎょさい創設50周年記念大会』を開催しました。

漁業共済は、災害や不慮の事故等によって中小漁業者が受けた損失を補てんする公的保険事業として、1964年7月に制定された漁業災害補償法に基づき創設されました。この間、中小漁業者の漁業経営の安定に大きな役割を果たされるとともに、先の東日本大震災では、未曾有の被害に対処すべく、官民挙げて早期支払いに取り組み、災害対策としての重要な機能を発揮されました。

大会当日は、全国から約400人の関係者を招き、特別功績者の表彰や「ぎょさい」と「積立ぷらす」推進への決議を行いました。

本会では、主催者のご厚意のもと、漁船海難遺児を励ます全国協議会のかたがたと会場受付付近にて募金活動を行い、来場された皆さまより温かいご支援を賜ることができました。ご協力いただきました多くの皆さまに心より御礼申し上げます。

第34回 全国豊かな海づくり大会～やまと～

（写真提供：水産経済新聞社）

11月15、16日の2日間、「ゆたかなる森がはぐくむ　川と海」をテーマに、『第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～』（豊かな海づくり大会推進委員会、第34回全国豊かな海づくり大会奈良県実行委員会主催）が古都・奈良において盛大に執り行われました。

この大会は、水産資源の維持培養と海の自然環境保全の必要性を広く国民に訴えることを目的として、1981年から毎年各地持ち回りで実施されてきました。今年の開催地である奈良県に海はありませんが、「近畿の屋根」と呼ばれる緑豊かな山々から湧き出る水は川となって里を潤し、やがて海へと注がれていきます。今大会では、この山・川・海を巡る水循環に焦点を当て、豊かな海の源となる山の恵み、川の恵みに感謝する大会となりました。

16日、吉野郡「大淀町文化会館あらかしホール」で行われた式典では、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、地元のかたがたによる舞踊や合唱、功績団体や作文コンクール等優秀作品受賞者の表彰式などが行われました。その後、おおたき龍神湖と吉野川大川橋下流河川敷に会場を移し、放流・歓迎行事がそれぞれ行われました。

本会においては、日本ボーイスカウト奈良県連盟ならびに一般社団法人ガールスカウト奈良県連盟の皆さん（各団体とも引率者2人・団員6人／計16人）にお手伝いいただき、式典および放流・歓迎行事会場（おおたき龍神湖会場）の2カ所でそれぞれ募金活動を行いました。当日は、寒さにも負けない子供たちの元気な呼び掛けに、朝早くから来場された皆さまも足を止め、たくさんの方が「水色の羽根募金」にご協力くださいました。

大会主催者はじめ、ボーイ・ガールスカウトの皆さん、またご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

なお、次回の第35回大会は、10月24、25日に富山県で行われる予定です。詳しい情報は、大会ホームページ（http://yutakanaumi-toyama.jp/）をご覧ください。

放流・歓迎会場

式典会場

漁船海難遺児と母の文章 第8集「心の中のアルバム」より

お父さんがいなくなって十五年

福島県　中学校三年　菊地麻希

平成五年十二月九日に私は生まれました。お父さんは、私が生まれてからは、毎日病院へ来ていたそうです。あの事故の前日も病院へ来て、「お正月がちかいので明日から船にのる」と言って帰って行ったそうです。

でもそれっきり帰って来なくなりました。お母さんとおばあちゃんは、お父さんがいなくなってたぶん泣いていたと思います。

テレビの上と、私の部屋にもお父さんが看護師さんに頼んで撮ってもらった写真が飾ってあります。「この写真の人は誰なの」と何回も聞いていたそうです。アルバムを見ても私と、お母さんだけが写っている写真しかなくお父さんと三人で写っている写真がない時は、お母さんに私は、「なんで二人の写真しかないの、三人で写っている写真がみたいな」と言ってこまらせていたそうです。私のいとこの子達がお父さんに連れられて遊園地に行った写真を見ると、うらやましいと思っていました。そのぶんお母さんがいろんな所へ連れて行ってくれました。

私は、中学校三年生になりました。将来は保育士になりたいと思い、そのために勉強を一生懸命に頑張り資格を取りたいと思います。お父さん私達を、いつまでも天国で見守っていて下さい。

歩みを止めずに……

高知県　高等学校二年　橋本　開

僕の父は、平成四年二月二十六日に海で亡くなりました。当時、二才と三才の姉二人と四月に僕を出産予定だった母、そして父親の四人家族でした。五人目の家族（僕）が男だと分かった父は、とても喜んでいたそうです。その日も父はいつものように漁に出かけました。産まれてくる僕のため、「一家の大黒柱」として家計を守るために風邪をひいた体で。いつでも家族のことを考え、どんな時でも一生懸命に働いていた父。ビデオや写真でしか見たことはありませんが、父の偉大さを感じています。そして、今では僕の目標であり、ライバルです。

現在、僕は高校二年生になり、多忙な日々をおくっています。周りのたくさんの人の支えと、自慢の家族のおかげで今の充実した生活をおくれています。今では僕も立派な「一家の大黒柱」になれるように、家族を支えていきたいと思っています。周りの（父親がいる）友達は、〝父〟とのたくさんの想い出があり、これからもその想い出は増え続けていくでしょう。父親とキャッチボールしたり、釣りに行ったり……。悔しいとかうらやましいという気持ちはありますが、父親がいない自分はそれによって他の人にはない大きなものを手に入れた気がします。たくさんの愛情を僕に与えてくれた母に感謝しています。

「父ちゃん見てるかーい？」

「僕はこんなに大きくなったよ」

「家族のことは僕に任してね」

いつか胸を張って言えるようになるその日まで。僕は頑張っていきたいと思います。一歩ずつ前へ。歩みを止めずに……。

※学年は作品制作当時のものです。

～漁船海難遺児と母の文集～ 作文・詩歌・イラスト募集

1970年に設立されました本会は、来秋10月29日をもって無事45周年を迎えます。

本会ではこれまで、設立5年毎の節目に奨学生ならびに保護者の皆さまから募った作文等を1冊の本にとりまとめ、「漁船海難遺児と母の文集」として第8集まで刊行してまいりました。これらの作品はいずれも、奨学生・保護者の皆さまと本会の貴重な記録であるとともに、命の大切さや海難事故絶滅を広く国民の皆さまに訴える大きな原動力としての役割も果たしております。

つきましては、45周年におきましても、引き続き文集を刊行するべく、奨学生やそのご家族の皆さまから作文・詩歌・イラストを新たに募集致します。

募集要領は下記のとおりですが、ご不明な点などございましたら、本会までお気軽にお問い合わせください。

皆さまお忙しいことと思いますが、ぜひともご協力いただきますようお願い致します！

募集要領

［対　　象］本会奨学生の方（過去に奨学生だった方も含む）またはそのご家族

［題　　材］自由

- ◆ 事故防止を願って、お父さんとの思い出、お母さんや寄附者の皆さまへの感謝の気持ち、将来の夢など文集に相応しいものをお選びください。
- ◆ イラストは挿絵として使用致します。アニメなどキャラクターの絵は著作権等の問題によりご遠慮願います。

［様　　式］作文・詩歌：800～1,600字程度
イラスト：ハガキ～A4サイズ大のもの

- ◆ 作文・詩歌はお手持ちの原稿用紙やレポート用紙などをご利用いただくか、本会作成の応募用紙をお送りしますので、そちらをご利用ください。（特に規制はありません。パソコンによる出力も可。）
- ◆ 学校の授業で書かれた作品を送っていただいても結構です。ただし、コンクールなどへ出品された作品は、著作権の問題が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◆ 作品には氏名・住所・標題のほか、保護者かそのご家族かを必ず記載してください。

［応募方法］郵送、FAX、Eメール

- ◆ メールに添付いただく原稿ファイルの形式は「ワード」と「テキスト」に限らせていただきます。
- ◆ 所属されている（もしくは、されていた）漁協や漁連に直接お持ち込みいただいても結構です。

［締　　切］2015年4月30日本会必着

［刊行予定］2015年10月29日

［ご応募・お問い合わせ先］

公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047　東京都千代田区内神田1-2-1 ダコタハウス5階
TEL：03-3518-6121（平日9～17時まで）/FAX：03-3518-6122（24時間受付）
E-mail：mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp

＊ご応募いただいた方全員に、文集と記念品を贈呈致します。
＊掲載時に作品の一部を編集させていただく場合がございます。また、ご応募いただいた作品は基本的に返却致しませんのでご了承ください。

ご寄附のお礼

2014年9月から11月までにご寄附を頂いた皆さまのご芳名（敬称略）を掲げ、厚くお礼申し上げます。

励ましおじさん・おばさん

〔9月〕◎**北海道**▽加藤茂子▽本間雅彦◎**岩手県**▽長澤浩美◎**宮城県**▽鎌内浩◎**茨城県**▽常盤和己▽藤本歌子◎**埼玉県**▽古関和則▽小林哲朗▽志村隆司▽田口昭博▽濱田研一▽松本安裕◎**千葉県**▽伊賀久則▽猪苗代健一▽大類裕久▽坂口はつ子▽平田淳一▽福田昌佳▽宮澤敏彦▽若林満◎**東京都**▽飯島孝夫▽香川謙二▽勝野輝美▽㈱洸洋取締役会長江刺冨美子▽木部茂徳▽髙田明生▽戸田滿弘▽長屋信博▽根本京子▽廣重和夫▽本川一善▽松井明▽向井昌子▽渡辺千鶴子◎**神奈川県**▽遠藤久▽大森敏弘▽越智豊子▽佐藤明美▽正木勝美▽大和陸子◎**福井県**▽武田忠男◎**静岡県**▽古寺健二◎**山口県**▽熊谷佐枝子

〔10月〕◎**北海道**▽加藤茂子▽本間雅彦◎**岩手県**▽長澤浩美◎**宮城県**▽鎌内浩◎**茨城県**▽常盤和己▽藤本歌子◎**埼玉県**▽古関和則▽小林哲朗▽志村隆司▽田口昭博▽濱田研一▽◎**千葉県**▽伊賀久則▽猪苗代健一▽大類裕久▽坂口はつ子▽平田淳一▽宮澤敏彦▽若林満◎**東京都**▽飯島孝夫▽香川謙二▽勝野輝美▽㈱洸洋取締役会長江刺冨美子▽木部茂徳▽髙田明生▽戸田滿弘▽長屋信博▽根本京子▽廣江志賀子▽廣重和夫▽本川一善▽松井明▽水田正和▽渡辺千鶴子◎**神奈川県**▽遠藤久▽大森敏弘▽越智豊子▽佐藤明美▽正木勝美◎**福井県**▽武田忠男◎**静岡県**▽古寺健二◎**兵庫県**▽武田佳子◎**山口県**▽熊谷佐枝子

〔11月〕◎**北海道**▽加藤茂子▽本間雅彦◎**岩手県**▽長澤浩美◎**秋田県**▽山岸剛◎**茨城県**▽常盤和己▽藤本歌子◎**埼玉県**▽古関和則▽小林哲朗▽田口昭博▽濱田研一▽松本安裕◎**千葉県**▽伊賀久則▽猪苗代健一▽大類裕久▽坂口はつ子▽福田昌佳▽宮澤敏彦▽若林満◎**東京都**▽飯島孝夫▽香川謙二▽勝野輝美▽㈱洸洋取締役会長江刺冨美子▽木部茂徳▽髙田明生▽戸田滿弘▽長屋信博▽根本京子▽廣重和夫▽本川一善▽松井明▽水田正和▽向井昌子▽渡辺千鶴子◎**神奈川県**▽遠藤久▽大森敏弘▽越智豊子▽佐藤明美▽正木勝美▽福井県▽武田忠男◎**静岡県**▽古寺健二◎**山口県**▽熊谷佐枝子

育英基金

1、**漁協系統募金**（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称・地励協）」等で取り扱った分で、一般寄附を含みます。）

〔9月〕◎**北海道**▽ＪＦ上磯郡―しりうち大漁祭り月◎**青森県**▽ＪＦ新深浦町岩崎支所▽ＪＦ白糠◎**茨城県**▽ＪＦ共水連関東東海事業本部茨城支店▽ＪＦはさき▽ＪＦ磯崎▽ＪＦ茨城沿海地区漁連▽茨城県漁業信用基金協会▽茨城県漁港協会▽茨城県漁船保険組合▽ＪＦ茨城信漁連▽茨城県旋網漁業協同組合▽茨城県無線漁業協同組合▽ＪＦ久慈町▽ＪＦ鹿島灘▽全国合同漁業共済組合茨城県事務所▽ＪＦ大洗町▽ＪＦ大津▽ＪＦ那珂湊▽ＪＦ平潟▽地励協◎**東京都**▽

ＪＦ御蔵島村月◎**富山県**▽魚崎忠雄―漁連会長退任に際し◎**静岡県**▽ＪＦ大熱海▽大熱海漁業協同組合青壮年部▽浜名漁業協同組合女性部▽地励協◎**兵庫県**▽ＪＦ一宮町▽ＪＦ高砂▽ＪＦ津名▽ＪＦ坊勢◎**広島県**▽ＪＦ地御前◎**山口県**▽荒川正治◎**福岡県**▽ＪＦ宗像大島支所▽ＪＦ福岡信漁連◎**佐賀玄海**▽ＪＦ佐賀げんかい呼子町統括支所◎**長崎県**▽ＪＦ長崎県漁連東京直売所▽宮本利文―香典返し▽ＪＦ豊玉町▽地励協◎**鹿児島県**▽ＪＦ加世田▽ＪＦ志布志▽ＪＦ東町▽ＪＦ枕崎市

〔10月〕◎**青森県**▽ＪＦ十三◎**千葉県**▽地励協◎**東京都**▽ＪＦ小笠原島▽ＪＦ神津島◎**静岡県**▽静岡県漁業信用基金協会◎**愛知県**▽ＪＦ蒲郡形原支所▽ＪＦ豊浜◎**兵庫県**▽ＪＦ沼島▽ＪＦ姫路市◎**山口県**▽九州山口地区漁協女性部協議会▽山口県漁協青壮年部連合会柳井支部▽ＪＦ山口豊浦支店◎**長崎県**▽ＪＦ佐世保市相浦黒島支所▽三重地区みなと祭り実行委員会▽ＪＦ川棚▽ＪＦ多良見町▽ＪＦ長崎漁連▽ＪＦ島原◎**鹿児島県**▽ＪＦおおすみ岬▽ＪＦかいゑい▽ＪＦとくのしま▽ＪＦねじめ▽ＪＦ宇検村▽ＪＦ羽島▽ＪＦ奄美▽ＪＦ沖永良部島▽ＪＦ屋久島▽ＪＦ加世田▽ＪＦ笠沙町▽ＪＦ喜界島▽ＪＦ喜入町▽ＪＦ牛根▽ＪＦ錦海▽ＪＦ錦江▽ＪＦ串木野市▽ＪＦ串木野市島平▽ＪＦ江口▽ＪＦ高山▽ＪＦ甑島▽ＪＦ三島村▽ＪＦ山川町▽ＪＦ市来町▽ＪＦ志布志▽ＪＦ指宿▽ＪＦ鹿屋市▽鹿児島まぐろ同友会▽鹿児島県漁業共済組合▽ＪＦ鹿児島漁連／総務指導室▽鹿児島県漁船保険組合▽ＪＦ鹿児島信漁連▽ＪＦ鹿児島市▽ＪＦ種子島▽ＪＦ十島村▽ＪＦ吹上町▽ＪＦ垂水市▽ＪＦ瀬戸内▽ＪＦ西桜島▽ＪＦ川内市▽ＪＦ共水連鹿児島県事務所▽ＪＦ谷山▽ＪＦ東串良▽ＪＦ東桜島▽ＪＦ東町▽ＪＦ内之浦町▽ＪＦ南さつま▽ＪＦ南種子町▽ＪＦ福山町▽ＪＦ坊泊▽ＪＦ北さつま▽ＪＦ枕崎市▽ＪＦ名瀬▽ＪＦ与論町◎**沖縄県**▽沖縄砂利採取事業協同組合／（公財）沖縄県農林水産団体共済会／深田サルベージ建設㈱／東亜海事土木㈱／日ノ出紙器工業㈱／農林中央金庫那覇支店／ＪＦ沖縄漁連―第22回チャリティーゴルフ

〔11月〕◎**北海道**▽北海道漁業共済組合―創立50周年記念として◎**千葉県**▽地励協◎**愛媛県**▽ＪＦ吉田町◎**長崎県**▽ＪＦ五島ふくえ崎山支所▽ＪＦ美津島町尾崎支所◎**大分県**▽ＪＦおおいた杵築支店▽大分県漁業協同組合青年部▽大分県水産関係親睦ゴルフコンペ▽大分県水産振興祭実行委員会▽大分県水産養殖協議会青年部▽㈲柳田水産

2、一般寄附

〔9月〕◎**北海道**▽全日本海員組合道南支部◎**岩手県**▽ＪＦ山田漁連―農林年金山田町水産分会解散のため▽全日本海員組合岩手事務所／全国海友婦人会宮古支部／全国海友婦人会山田支部―全日海本部経由◎**宮城県**▽女川魚市場買受人協同組合／おながわ秋刀魚収獲祭実行委員会―全日海東北地方支部経由◎**埼玉県**▽小野沢通▽小林哲朗◎**千葉県**▽全国漁業協同組合学校▽飯村久子◎**東京都**▽㈱中央漁業公社▽（公財）水産物安定供給推進機構▽（公財）海外漁業協力財団▽（公社）日本水産資源保護協会▽新橋やきとん▽全国漁港・漁村振興漁業協同組合連合会◎**神奈川県**▽㈱水産総合研究センター中央水産研究所横浜庁舎（本所）◎**兵庫県**▽瀬戸内海漁業調整事務所◎**奈良県**▽奈良県魚食普及協議会◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**広島県**▽全日本海員組合尾道支部◎**香川県**▽全日本海員組合高松支部◎**長崎県**▽全日本海員組合長崎支部◎**鹿児島県**▽冨元小松

〔10月〕◎**北海道**▽コープさっぽろ函館地区委員会◎**宮城県**▽工藤和子◎**埼玉県**▽小野沢通◎**千葉県**▽飯村久子◎**東京都**▽榎本みつ枝▽石崎信義▽ぎょさい創設50周年記念大会募金▽第65回全国漁港漁場大会 募金◎**神奈川県**▽太田蓉子◎**富山県**▽ＪＦくろべ―魚の駅「生地」10周年創業祭時募金◎**山梨県**▽佐藤一江◎**兵庫県**▽阪神低温㈱代表取締役社長蓮沼俊一◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**佐賀県**▽千住克幸◎**鹿児島県**▽冨元小松

〔11月〕◎**北海道**▽富田三男◎**埼玉県**▽小野沢通◎**東京都**▽（一社）ジェイエフマリンバンク支援協会▽（一社）海洋水産システム協会▽明治大学付属中野八王子中学校・高校生徒会福祉委員会―文化祭募金◎**富山県**▽ＪＦくろべ◎**静岡県**▽上柳昭治◎**奈良県**▽第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～募金◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**宮崎県**▽宮崎県立宮崎海洋高等学校◎**鹿児島県**▽㈱ＫＣＲ▽冨元小松

3、ゆび募金（ジャパン・カインドネス協会経由）

▽アサヒ飲料㈱▽キリンビバレッジ㈱▽コープビル管理会▽コカ・コーライーストジャパン㈱（東京コカ・コーラ）▽ネオス㈱▽ＪＦ横浜市▽ＪＦ岩▽ＪＦ上宮田▽ＪＦ二宮町▽ＪＦ葉山町▽ＪＦくろべ▽兵庫県新水産会館▽ＪＦ早田原▽日南市漁協女性部加工グループ▽ＪＦ北さつま▽コカ・コーライーストジャパン㈱（コカ・コーラセントラル）▽㈱ジャパンビバレッジ東京江東主管支店▽高沢医院▽大蔵屋商事㈱

※寄附金は、全て公益目的事業である漁船海難遺児等に対する修学助成事業に使用させていただきます。

編集後記

今年もこの場をおかりして、本会役職員より一言ずつ年始のご挨拶をさせていただきます。新しい年が、皆さまにとって良き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

＊奨学生と家族の皆さま、今年はさらに良い年でありますよう、またそれらを支えて頂く多くの支援者の皆さま、さらなるご発展とご健勝をご祈念申し上げます。今年は未年、奨学生の皆さまお互い、未成熟のままにならないよう何度も反芻（はんすう）（何度も噛み砕き理解）し、今後の成長へ繋げていきましょう。（鈴木）

＊昨年末から、厳しい海象下での無理な操船・操業による漁船海難事故が多く発生し、心配しているところでありますが、今年も皆さまのご健勝と操業安全をご祈願致します。（大野）

＊健康に注意し穏やかに明るく過ごしていきたいと思っております。（梶山）

＊何事も無理せず、楽しく行動して良い一年になるよう心掛けます。（高橋）

＊今年も周りのかたがたへの感謝の気持ちを忘れず、健康に気を付けて仕事を頑張りたいと思います。（三上）

都道府県別奨学生数

（2014年12月15日現在／単位：人）

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生	合計	2014年度第3回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等		幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北海道	6	9	6	16	37	10	47		2	2	1		5
青森			3	5	8		8						
岩手	1	8	6	11	26		26				1		1
宮城	1	7	10	12	30		30						
秋田													
山形				1	1		1						
福島		14	8	5	27		27						
茨城													
千葉	1	2	2	3	8	4	12						
東京				1	1	2	3						
神奈川	1	1	2	1	5	1	6						
新潟			2		2		2						
富山													
石川			2	2	4		4						
静岡						2	2						
愛知													
福井				2	2		2						
三重													
京都				1	1		1						
大阪													
兵庫		1	1	4	6		6		1	1			2
和歌山	1	1			2		2						
鳥取			1	1	2		2						
島根				1	1		1						
岡山			1	1	2		2						
広島		1			1		1						
山口			1	3	4	2	6						
徳島				1	1	1	2						
香川			1	2	3		3						
愛媛		3	1	4	8	2	10						
高知			1		1	2	3						
福岡			1	1	2	1	3						
福岡有明海		1	1	1	3		3						
佐賀玄海		2	3		5		5						
佐賀有明海													
長崎		6	4	3	13		13						
大分				1	1	1	2						
熊本	1	4	1		6		6						
宮崎		1	3	2	6	2	8						
鹿児島		3	3	2	8		8						
沖縄		1	1	4	6		6						
合計	12	65	65	91	233	30	263		3	3	2		8

＊給与奨学生には特別支援学生を含む。
＊貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。
＊休学中の奨学生は人数に含まない。
＊2014年度第3回採用者は内数である。